

令和 6 年度

伊万里・有田圏域二級水系流域治水協議会

伊万里・有田地域の県管理河川大規模氾濫に関する減災対策協議会

3 市町の取組について

- ・伊万里市
- ・有田町

■伊万里市防災パトロール【伊万里市】 継続

- 地元から提出された災害危険箇所の調査を行い、雨季前に危険箇所の状況や今後の対応などについて地元と共有を図った。
- 市、伊万里有田消防本部、伊万里警察署、伊万里農林事務所、伊万里土木事務所、地元区長などで災害危険箇所の現状把握を行う伊万里市防災パトロールを行った。



江湖山ため池廃止工事の現地(二里町川東)で説明を受ける様子



地すべり対策工事の集水井工(波多津町筒井)で説明を受ける様子

■ 伊万里市防災パトロールによる効果

- ① 雨期前に市、行政区双方で災害危険箇所を把握することで、災害被害の軽減が期待できる。
- ② 災害対応における防災関係機関相互の協力体制の確認を行うことができた。

■ 今後の取り組み

- ① 継続実施する。

①水防意識の向上と防災情報の的確な収集・伝達・理解・共有を推進するための取組

【防災意識の啓発】

■市ホームページ、広報紙、ハザードマップ等を

活用した防災に関する啓発活動

【伊万里市】

継続

【出前講座】

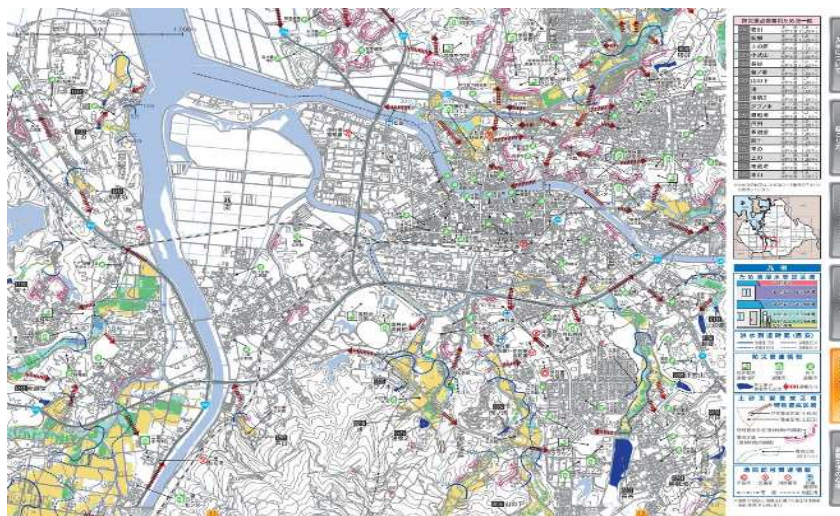
- 各種団体等からの申込みにより出前講座を実施。
- 令和6年度は11団体345名に対して市の防災体制や平時、災害時の市民の対応等について説明した。

【市ホームページ】

- 自然災害全般に関することや、河川・土砂災害・ため池のハザードマップなどを掲載した。

【広報紙等】

- 6月号の「広報いまり」に防災特集を掲載し、災害時や緊急時の情報伝達手段など市民に周知した。



令和6年12月に作成したため池ハザードマップ



大坪小学校での防災授業の様子(出前講座)

■ 出前講座、市ホームページ等を活用した防災に関する啓発活動による効果

- ① 市民の防災意識や知識の向上に寄与した。
- ② 地域防災力の向上に寄与した。

■今後の取り組み

- ① 継続実施する。

②地域住民・市民団体・関係機関の連携・協働による地域の将来を担う人材の教育・発掘に向けた取り組み【水防活動等】

■災害時図上訓練 【伊万里市】 新規

- 地区防災委員や行政区長、消防団員等の「地区防災会」に関わる方を対象に災害図上訓練（D I G）を実施。
- 危険箇所や災害発生時の避難経路、救護活動など地域の実情を踏まえた対応策を住民同士が考え、地区における防災活動の活発化を図った。また、地域に住む佐賀県地域防災リーダーや防災士にも訓練の補助として参加してもらい、地域の方との顔の見える関係の構築を図った。
- 令和6年度～令和9年度にかけて伊万里市内全13地区で実施予定。



講師の講演を聴講する参加者の様子



防災リーダー等にアドバイスを受けながらDIGに取り組む様子

■ 災害時図上訓練による効果

- ① 「わがまち・わが家の防災マップ」を使用し、地域の状況を確認しながら訓練を実施することで、災害発生時の行動をイメージでき、市民の防災意識や知識の向上に寄与した。

■ 今後の取り組み

- ① 継続実施する。

水害リスク情報を共有できるハザードマップへの改良と周知及び活用の推進【有田町】

防災意識向上と迅速な避難に役立つマイ防災マップづくりと拡充【有田町】

- 平成30年度に町内の土砂災害警戒区域等の指定及び有田川の浸水想定区域の公表が完了し、令和元年度に有田町防災マップを作成のうえ全戸配布し、ホームページでも公開している。
- 町指定の緊急避難場所や自治公民館、消防格納庫、町内の小中高等学校の区域をカバーするA1サイズの高さのハザードマップを配布・掲示して地域のリスク情報を周知している。
- Web版ハザードマップにより自宅や勤務先等必要に応じた縮尺でマイ防災マップが作成可能となった。
- 令和3年度の改訂で、避難情報の更新（避難指示・高齢者等避難…）、ダム（竜門ダム・有田ダム）の越水ハザードマップの追加を行った。



↑ハザードマップ（令和4年2月改訂版）



↑ダムの越水ハザードマップのページ



↑公共施設や自治公民館配布用マップ

成果

- 縮尺が大きくなり、地域の細部まで確認できるようになった。
- 地域防災の中核である消防団格納庫にて地域のリスク情報を把握できるようになった。

課題・今後の予定

- 町民の防災意識を高めるため、今後も住民説明会や防災訓練等の機会を活用し、ハザードマップを利用して、啓蒙活動を行いたい。

水防災教育、出前講座等を活用した講習会の実施【有田町】

関係機関が連携した水防訓練、連絡体制、情報共有の強化【有田町】

自主防災組織、水防団、防災リーダーの育成強化【有田町】

- 地区で開催される会議等において、防災研修を実施した。
- 自主防災組織連絡協議会を結成し、組織間の情報共有体制の整備を図ることにより、町の防災体制の充実強化に努めた。消防団や防災士にも参加を呼び掛け、佐賀地方気象台による防災研修会を実施。防災気象情報や土砂災害警戒情報の発表基準などへの理解を深めた。



自主防災組織連絡協議会（R7.2.9実施）



防災研修会（R7.2.9実施）

成果

- 平常時から「災害時に活動できる自主防災組織づくり」「自主防災組織間の連携」に取り組み、地域住民による避難の呼び掛け（助け合い）に繋げる重要性を学んだ。

課題

- ハード整備により、大規模災害を経験した住民が少なくなっており、逃げ遅れを防ぐためにも防災教育は繰り返し行い、防災意識の啓発が重要である。
- 出前講座等を実施できる職員を養成する必要がある。

今後の予定

- 自主防災組織や消防団、関係機関と連携して、避難訓練や地区防災会議等必要や要請に応じて、出向いて防災教育を実施していく。
- 児童等に対する防災教育も関係機関と連携をとって実施していく。
- 今後も自主防災組織連絡協議会を中心に、避難所運営などの研修を行い、組織間の連携体制及び協力体制の充実強化を図る。

水害リスクが高い区間における地域住民が参加する共同点検や避難訓練の実施【有田町】 重要水防箇所の共同点検【有田町】

○区長へ地域の危険箇所について、情報提供してもらい関係機関（平成30年度より伊万里土木事務所からも参加）と合同で、住民立会のもと5月27日（水）に防災パトロールを実施した。
地域から要望があった4箇所の確認を実施した。



防災パトロール（5/27（水））の様子

成果

□ 雨期前に町と関係機関や地域住民で危険箇所を把握することで危機管理意識を共有できた。

課題

□ 危険個所の情報提供が減っていることから、地域における危機管理意識の向上を図る取り組みが必要である。

今後の予定

□ 今後も情報提供を依頼し、継続して実施する。